

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【公表番号】特表 2002-536691 (P2002-536691A)
 【公表日】平成 14 年 10 月 29 日 (2002.10.29)
 【出願番号】特願 2000-597792 (P2000-597792)
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 0 L 15/28

G 0 6 F 3/16

G 1 0 L 15/10

【F I】

G 1 0 L 3/00 5 6 1 A

G 0 6 F 3/16 3 2 0 H

G 1 0 L 3/00 5 3 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 7 月 9 日 (2003.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のスコアを生成するために発話を第 1 の記憶された単語と比較し、
 第 2 のスコアを生成するために発話を第 2 の記憶された単語と比較し、
 第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間の差を決定し、
 その差に対する第 1 のスコアの比を決定し、
 その比に基づいて発話を処理するステップを含んでいる音声認識システムにおける発話捕捉方法。

【請求項 2】

差に対する第 1 のスコアの比が第 1 の値の範囲内に入っている場合、その発話を受入れ、
 差に対する第 1 のスコアの比が第 2 の値の範囲内に入っている場合、その発話を確認するために N ベストアルゴリズムを適用し、
 差に対する第 1 のスコアの比が第 3 の値の範囲内に入っている場合、その発話を除去するステップをさらに含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

差は第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間のスコアの変化に対応している請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

第 1 の記憶された単語は、音声認識システムの語彙の中でベストな候補を含み、第 2 の記憶された単語は音声認識システムの語彙の中で 2 番目にベストな候補を含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

第 1 のスコアは最も近い比較結果を含み、第 2 のスコアは 2 番目に最も近い比較結果を含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、線形予測符号化係数を含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、ケプストラム係数を含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、バンドパスフィルタ出力を含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】

第 1、第 2 および第 3 の値の範囲は、第 1 のスコアと差との間の線形関係を規定する請求項 1 記載の方法。

【請求項 10】

差は、最も近い比較結果と 2 番目に近い比較結果との間の差を含んでいる請求項 1 記載の方法。

【請求項 11】

発話のデジタル化されたスピーチサンプルからスピーチパラメータを抽出するように構成された音響プロセッサと、
この音響プロセッサに結合されたプロセッサとを具備しており、
前記プロセッサは、
第 1 のスコアを生成するために発話を第 1 の記憶された単語と比較し、
第 2 のスコアを生成するために発話を第 2 の記憶された単語と比較し、
第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間の差を決定し、
その差に対する第 1 のスコアの比を決定し、
その関係に基づいて発話を処理するように構成されている音声認識システム。

【請求項 12】

プロセッサはさらに、
差に対する第 1 のスコアの比が第 1 の値の範囲内に入っている場合、その発話を受入れ、
差に対する第 1 のスコアの比が第 2 の値の範囲内に入っている場合、その発話を確認するために N ベストアルゴリズムを適用し、
差に対する第 1 のスコアの比が第 3 の値の範囲内に入っている場合、その発話を除去するように構成されている請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 13】

差は第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間のスコアの変化に対応している請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 14】

第 1 の記憶された単語は音声認識システムの語彙の中でベストな候補を含み、第 2 の記憶された単語は音声認識システムの語彙の中で 2 番目にベストな候補を含んでいる請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 15】

第 1 のスコアは最も近い比較結果を含み、第 2 のスコアは 2 番目に最も近い比較結果を含んでいる請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 16】

第 1 および第 2 のスコアは、線形予測符号化係数を含んでいる請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 17】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、ケプストラム係数を含んでいる請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 18】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、バンドパスフィルタ出力を含んでいる請求項 11 記載の音声認識システム。

【請求項 19】

第 1、第 2 および第 3 の値の範囲は、第 1 のスコアと差との間の線形関係を規定する請求

項 1 2 記載の音声認識システム。

【請求項 2 0】

差は、最も近い比較結果と 2 番目に最も近い比較結果との間の差を含んでいる請求項 1 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 1】

第 1 のスコアを生成するために発話を第 1 の記憶された単語と比較する手段と、
第 2 のスコアを生成するために発話を第 2 の記憶された単語と比較する手段と、
第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間の差を決定する手段と、
その差に対する第 1 のスコアの比を決定する手段と、
その関係に基づいて発話を処理する手段とを具備している音声認識システム。

【請求項 2 2】

さらに、差に対する第 1 のスコアの比が第 1 の値の範囲内に入っている場合、その発話を受入れる手段と、
差に対する第 1 のスコアの比が第 2 の値の範囲内に入っている場合、その発話を確認するために N ベストアルゴリズムを適用する手段と、
差に対する第 1 のスコアの比が第 3 の値の範囲内に入っている場合、その発話を除去する手段を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 3】

第 1、第 2 および第 3 の値の範囲は、第 1 のスコアと差との間の線形関係を規定する請求項 2 2 記載の音声認識システム。

【請求項 2 4】

差は、第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間のスコアの変化に対応している請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 5】

第 1 の記憶された単語は音声認識システムの語彙の中でベストな候補を含み、第 2 の記憶された単語は音声認識システムの語彙の中で 2 番目にベストな候補を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 6】

第 1 のスコアは最も近い比較結果を含み、第 2 のスコアは 2 番目に最も近い比較結果を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 7】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、線形予測符号化係数を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 8】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、ケプストラム係数を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 2 9】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、バンドパスフィルタ出力を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 0】

差は、最も近い比較結果と 2 番目に最も近い比較結果との間の差を含んでいる請求項 2 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 1】

発話のデジタル化されたスピーチサンプルからスピーチパラメータを抽出する手段と、
第 1 のスコアを生成するために発話を第 1 の記憶された単語と比較し、
第 2 のスコアを生成するために発話を第 2 の記憶された単語と比較し、
第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間の差を決定し、
その差に対する第 1 のスコアの比を決定し、
その関係に基づいて発話を処理する手段とを具備している音声認識システム。

【請求項 3 2】

さらに、差に対する第 1 のスコアの比が第 1 の値の範囲内に入っている場合、その発話を受入れ、

差に対する第 1 のスコアの比が第 2 の値の範囲内に入っている場合、その発話に対して N ベストアルゴリズムを適用し、

差に対する第 1 のスコアの比が第 3 の値の範囲内に入っている場合、その発話を除去する手段を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 3】

差は、最も近い比較結果と 2 番目に最も近い比較結果との間の差を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 4】

差は、第 1 のスコアと第 2 のスコアとの間のスコアの変化に対応している請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 5】

第 1 の記憶された単語は、音声認識システムの語彙の中でベストな候補を含み、第 2 の記憶された単語は音声認識システムの語彙の中で 2 番目にベストな候補を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 6】

第 1 のスコアは最も近い比較結果を含み、第 2 のスコアは 1 以上の 2 番目に最も近い比較結果を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 7】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、線形予測符号化係数を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 8】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、ケプストラム係数を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 3 9】

第 1 のスコアおよび第 2 のスコアは、バンドパスフィルタ出力を含んでいる請求項 3 1 記載の音声認識システム。

【請求項 4 0】

第 1、第 2 および第 3 の値の範囲は、第 1 のスコアと差との間の線形関係を規定する請求項 3 2 記載の音声認識システム。